

事業名：健康づくり推進事業

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり				
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策	(1) 健康増進活動の推進				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
地域健康づくり推進員

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2	地域健康づくり推進員事業実施回数	回	43	53	30	56

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・生活習慣病予防や健康づくりを目的とした講演会の開催。
- ・食生活改善推進員、地域健康づくり推進員、健康づくりサポーターなどの活動支援。
- ・こころの健康づくり事業の開催。
- ・えべつオリジナルリズムエクササイズ「Eーリズム」普及啓発。
- ・『江別市地域健康づくり推進事業補助要綱』により、地域健康づくり推進員が地域において健康づくりに関する事業を実施した場合、予算の範囲内で1事業に対し10万円を限度に補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	こころの健康づくりや生活習慣病に関する講座、教育、相談の実施回数	回	660	603	599	740
活動指標 2	補助金額	円	268,000	317,430	240,000	330,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

食生活の改善や運動など健康づくりに取り組む市民が増える。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	参加者数	人	10,736	6,453	1,869	4,840
成果指標 2	補助事業参加者数	人	1,226	1,086	389	800

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	7,328	6,396	7,371	7,098
正職員人件費 (B)		千円	40,804	29,979	30,190	28,127
総事業費 (A+B)		千円	48,132	36,375	37,561	35,225

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康づくり講演会、ゲートキーパー養成研修、地域ゲートキーパー教育 ・地域健康づくり推進員事業（ウォーキング、ノルディックウォーキング、運動教室等） ・Eーリズム普及事業（市民向け講座、地域での講習） ・食生活改善協議会による健康づくり食育活動（ふれあいレストラン、野菜摂取促進啓発事業への協力）など 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進事業非常勤職員報酬 ・講師謝礼等一般報償費 ・生活習慣病予防等健康相談経費 ・食生活改善協議会等委託料 ・健康づくり推進事業補助 ・相談先一覧カード等印刷製本費 	<p>2,805千円 728千円 2,514千円 322千円 330千円 230千円</p>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、ソーシャルディスタンスを保つため、人数制限を設け、事前申し込み制で実施する。

事業名：健康教育事業

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定		具体的施策	(1) 健康増進活動の推進			
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	0	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・生活習慣病予防や健康づくりを目的とした教室や出前教育の実施
- ・小学校向けの喫煙予防教室、中学校向けの生活習慣病予防教室の実施
- ・自治会や地域の団体などを対象とした健康教育

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 健康教育事業開催回数	回	0	101	25	76
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

正しい生活習慣や食習慣、運動する意識や喫煙予防・禁煙に対する市民の意識を高める。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 健康教育事業参加者数	人	0	3,398	1,317	3,360
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	951	1,124	958
正職員人件費 (B)	千円	0	11,146	11,224	10,263
総事業費 (A+B)	千円	0	12,097	12,348	11,221

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・地区別健康教育（自治会、団体等） ・健康づくりサポーター講座 ・食生活改善推進員再講習 ・野菜摂取推進にかかる普及啓発 ・喫煙予防教室（小学校）、生活習慣病予防教室（中学校）	各種講座等講師謝礼 71千円 テキスト等需用費 335千円 ポスター等印刷費 53千円 非常勤職員報酬 489千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、 ・ソーシャルディスタンスを保つため、会場・参加人数の見直しを行う。 ・不特定多数を対象とする啓発事業については、オンラインでの開催を検討し、安心して参加できる環境を整える。

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	02 商工業の振興		具体的施策	(1) 健康増進活動の推進			
開始年度	平成24年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	補助 補助金 政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）計画に取り組む組織・機関・団体等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	特区協議会構成員数	団体	86	86	86	85
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・食の高付加価値化
食品の評価試験システム「江別モデル」を推進するための補助金交付等
- ・海外市場の開拓
海外市場開拓・販路拡大を支援するための補助金交付及び海外催事出展等の海外市場開拓支援事業の実施
- ・食のまちPR
首都圏企業等へのフード特区事業PR

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	9,735	11,288	12,000	13,000
活動指標 2	補助金額	千円	6,825	6,919	6,890	7,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

食関連産業の立地環境整備を側面的に支援することで、食関連企業・研究施設等の新規立地や、既存企業の事業拡大による増設を促進し、食関連企業の集積を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	食関連企業の新増設数	社	2	0	1	2
成果指標 2	健康企業・健康事業所宣言等認定数（平成31年度から）	社	0	28	31	34

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	13,493	13,412	12,958	14,667
正職員人件費 (B)		千円	7,627	7,687	7,741	7,602
総事業費 (A+B)		千円	21,120	21,099	20,699	22,269

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出 ・機能性食品開発を支援する補助金を交付 ・海外市場開拓・販路拡大を支援する補助金を交付 ・海外催事出展、トップセールス、海外バイヤーとの商談会の開催のほか、外国語PR動画・冊子の制作による情報発信 ・フード特区の取り組みを首都圏企業等にPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・フード特区機構負担金 459千円 ・機能性食品開発支援補助金 6,500千円 ・海外市場開拓等促進補助金 500千円 ・海外市場開拓支援事業 5,410千円 ・フード特区広報事業 1,468千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生涯活躍のまち整備事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	99 政策の総合推進			戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり				
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策	(1) 健康増進活動の推進				
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	0	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・地域課題・ニーズの収集や、イベント・セミナー等の実施といった役割を担うコーディネーターを配置する。
- ・生涯活躍のまちの情報発信や移住相談等を行う開設準備室を設置する。
- ・生涯活躍のまちを広く周知するためのPRを実施する。
- ・オープンする拠点地域を中心とした地域交流事業を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	生涯活躍のまち関連イベント開催回数	回	0	5	10	53
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・江別市民が住み慣れた地域で、生涯にわたり医療・介護サービスの充実や生活利便性が確保され、安心した生活ができる。
- ・中高年齢者、若年層、障がい者など多様な主体の交流による「共生のまち」を実現する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	拠点地域内施設の利用者等の数	人	0	0	0	438
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	3,177	13,012	9,534
正職員人件費 (B)		千円	0	11,531	11,612	11,403
総事業費 (A+B)		千円	0	14,708	24,624	20,937

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 ・内覧会やパンフレット配布等による事業のPR ・地域交流イベント等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターに係る経費 6,242千円 ・PR経費 345千円 ・地域交流イベントに係る経費 1,995千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：健康都市推進事業

健康推進室参事（健康推進）

政策	03 福祉・保健・医療			戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策	(2) 疾病予防・重症化予防の促進			
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

健康のための良い生活習慣の定着が進むよう、健康に関する企画・催しの実施、啓発媒体の配布などを通じ、健康意識向上のための啓発を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 啓発に要する事業経費	千円	1,999	2,647	1,000	2,028
活動指標 2 健康意識啓発の取組項目数	項目	15	16	8	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民一人ひとりの健康の保持・増進に向けた意識が高まる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 健康のために心がけていることがある市民割合	%	88.8	85.2	89	89
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	3,271	2,654	2,411	2,037
正職員人件費 (B)	千円	19,068	19,218	19,353	19,005
総事業費 (A+B)	千円	22,339	21,872	21,764	21,042

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・野菜摂取推進に向けた普及啓発 ・健康意識向上のための啓発イベント	・野菜摂取推進のための啓発費 1,198千円 ・健康意識向上啓発イベント開催経費 830千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：成人検診推進事業

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定		具体的施策	(2) 疾病予防・重症化予防の促進			
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職場等で検診を受ける機会のない20歳以上の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	職場等で検診を受ける機会のない20歳以上の市民の数	人	45,517	46,066	46,654	47,042
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周病検診、健康診査等を行う。子宮がん検診は20歳以上を対象に行い、それ以外の検診は40歳以上を対象として、個別検診、集団検診を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	検診実施件数	件	19,870	18,851	13,137	18,519
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

がん検診等を受けることにより、疾患の早期発見・早期治療が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	がん検診平均受診率	%	14.9	14.1	10.8	12.4
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	74,753	71,951	79,361	84,400
正職員人件費 (B)		千円	16,017	16,143	16,256	15,964
総事業費 (A+B)		千円	90,770	88,094	95,617	100,364

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> 委託によりがん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周病検診、健康診査等を実施 早期検診、土・日曜日検診の実施 保健センターでのレディース検診では、子宮がん検診、乳がん検診を実施（託児あり） 集団検診の電話受付及びweb予約受付や受診勧奨等の事務委託 胃がんバリウム検診エックス線検査の他に内視鏡検査を令和3年度より実施 	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤報償 2,302千円 がん検診等委託料 78,078円 がん検診・歯周疾患検診受診勧奨通知経費 1,848千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	対策型検診として胃がんバリウム検診エックス線検査の他に内視鏡検査を令和3年度より実施する。集団検診は会場内の感染予防対策に努め、予約時間毎の受診者人数を見直し、ソーシャルディスタンスを保ち実施する。

事業名：特定健康診査等事業

国保年金課 国保健診係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり					
取組の基本方針	05 安定した社会保障制度運営の推進		具体的施策	(2) 疾病予防・重症化予防の促進					
開始年度	平成20年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

40～74歳の江別市国民健康保険被保険者
特定健診受診者の内特定保健指導該当者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	特定健診対象者	人	0	17,929	17,437	17,422
対象指標 2	特定保健指導対象者	人	0	493	636	636

手段（事務事業の内容、やり方）

医療機関及び健診実施機関へ特定健康診査の実施を委託
パンフレット、電話及び訪問による受診勧奨の実施
特定保健指導該当者には、市直営で特定保健指導を実施
自治会に対する特定健康診査等推進事業補助を実施
・補助根拠：江別市国民健康保険特定健康診査等推進事業補助金交付要綱
・補助対象事業及び金額：送迎バス等・・・基本額20,000円+参加人数×500円
結果説明会・・・基本額 5,000円+参加人数×100円

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	特定健診受診者数	人	0	4,609	3,887	5,231
活動指標 2	特定保健指導利用者数	人	0	165	186	262

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

特定健診受診率と特定保健指導利用率の向上を図り、糖尿病や高血圧、脂質異常症といった生活習慣病を早期に発見し、生活習慣の改善により発症と重症化を抑制する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	特定健診受診率（事務事業評価時点）	%	0	25.7	22.3	30
成果指標 2	特定保健指導利用率	%	0	33.5	29.2	41.2

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	60,937	68,142	69,870
正職員人件費 (B)		千円	0	16,911	17,030	16,724
総事業費 (A+B)		千円	0	77,848	85,172	86,594

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査 特定保健指導 未受診者への勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査実施経費 46,133千円 特定保健指導実施経費 5,622千円 未受診者への勧奨経費 10,362千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：一般介護予防事業

介護保険課参事（地域支援事業）

政策	03 福祉・保健・医療	戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり					
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実	具体的施策	(2) 疾病予防・重症化予防の促進					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

介護保険第1号被保険者（65歳以上の市民）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・介護予防教室及び介護予防出前講話の実施
- ・住民主体の通いの場の立ち上げ支援及び通いの場への専門職派遣
- ・介護予防サポーターの養成
- ・介護予防体操の普及啓発

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	介護予防出前講話の開催回数	回	52	42	10	80
活動指標 2	通いの場等への専門職派遣回数（平成31年度～）	回	0	32	0	32

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・生活機能の維持・向上に向けた自発的な取組が実践される。
- ・介護予防に資する通いの場への参加が拡大する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	介護予防出前講話の受講人数	人	1,077	1,038	152	1,200
成果指標 2	通いの場等での専門職講話の受講人数（平成31年度～）	人	0	523	0	320

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	3,694	3,786	5,755	6,083
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	2,280
総事業費 (A+B)		千円	5,982	6,092	8,077	8,363

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職を活用した介護予防教室の開催 ・住民団体等への介護予防出前講話の実施 ・住民主体の通いの場の立ち上げ支援 ・住民主体の通いの場へのリハビリテーション職派遣 ・介護予防サポーター講座の開催 ・コロナ禍におけるフレイル（虚弱状態）予防対策 ・オーラルフレイル予防（口腔機能向上）対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室・出前講話の開催経費 ・通いの場への専門職派遣等に係る経費 ・介護予防サポーターの養成に係る経費 ・フレイル（虚弱状態）予防対策に係る経費 	<p>4,392千円 996千円 357千円 338千円</p>

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・【拡大】講師派遣型の介護予防教室の試験的実施。 ・【拡大】フレイル（虚弱状態）予防対策の企画検討及び取組実施 ・【縮小】通いの場への専門職派遣（歯科衛生士、管理栄養士ほか）に係る経費の一部を「高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業」（健康推進室保健センター）へ事務移管
-----	---

事業名： 高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業 保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定		具体的施策				
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 65歳以上の市民		0	0	0	37,007
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・医療・介護・健診結果等のデータ分析による健康課題の把握
- ・通いの場や高齢者クラブ等への専門職派遣による健康教育・健康相談
- ・後期高齢者質問票を用いたフレイルチェック
- ・後期高齢者への生活習慣病重症化および低栄養予防のための個別支援

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 専門職派遣による健康教育回数	回	0	0	0	50
活動指標 2 フレイルチェック実施人数	人	0	0	0	2,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施することにより、健康寿命の延伸を図る

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 専門職派遣による健康教育・相談延べ人数	人	0	0	0	800
成果指標 2 重症化予防等の個別支援実施人数	人	0	0	0	100

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	5,247
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	7,602
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	12,849

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・医療・介護・健診結果等のデータ分析による健康課題の把握 ・通いの場や高齢者クラブ等への専門職派遣による健康教育・健康相談 ・後期高齢者質問票を用いたフレイルチェック ・後期高齢者への生活習慣病重症化および低栄養予防のための個別支援	・データ分析・企画調整等にかかる経費 2,420千円 ・通いの場等への健康教育・健康相談経費 564千円 ・後期高齢者質問票によるフレイルチェック 1,249千円 ・重症化予防等の個別支援にかかる経費 1,014千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	医療保険制度により74歳以前と75歳以降の保健事業が適切に継続されにくいこと、保健事業は後期高齢者医療広域連合介護予防は市町村と実施主体が異なるため、健康状態や生活機能の課題に一体的に対応できていないことなどの課題があった。こうした状況をふまえ、国で検討がなされ、市町村が中心となり推進するための体制整備について法改正等が行われた。その中で後期高齢者医療広域連合と市町村が連携のもと実施することや、市町村の役割も規定されたことから、市として、健康課題の分析・共有を行い、切れ目のない保健事業の提供及び介護予防との一体的な対応が図られるよう取り組む。